

予算決算委員会の活動

新年度予算と事業評価について

みよし市議会報告会

1 予算決算委員会とは

市議会には、予算決算委員会と企画総務・文教厚生・経済建設委員会の4つの常任委員会があります。予算決算委員会には、企画総務・文教厚生・経済建設分科会の3つの分科会があり、全議員20名はいずれかの委員会・分科会に所属しています。分科会では、次の表のとおり、関係予算と決算を審査します。

2 予算決算委員会の構成

分科会	委員	主な審議項目				その他
企画総務	7名	総務	企画	消防防災	交通安全	選挙/議会
文教厚生	7名	介護福祉	子育て	教育	社会保険	市民病院
経済建設	6名	環境	農業	商工業	土木	下水道

3 予算と決算の審査について

(1) 予算（案）について

- ① 当初予算／3月議会で次年度予算を審査（関係する全ての事業）
- ② 補正予算／3・6・9・12月議会で審査（緊急性の高い予算等）

(2) 決算について

- ① 決算／9月議会で前年度決算を審査（関係するすべての事業）
- ② 事業評価／重点施策から抜粋した2事業について、分科会で事業評価を行い市長に提出（10月中旬）

4 分科会・委員長報告について

- ① 分科会長は、審査結果を予算決算委員会に報告
- ② 予算決算委員長は、委員会の決定事項を議会に報告（各議会の最終日）、議会広報誌「きずな」に掲載し市民に公表

予算案の審査（令和6年度予算）

市長から提出された予算案について、約500ある事務事業の内容、必要性、費用対効果などを各分科会で詳細にチェックします。

◆一般・特別会計

（単位：千円）

区分	令和6年度	前年度	比較	備考
一般会計	28,942,000	25,987,000	2,945,000	過去最高額
特別会計	8,284,543	8,444,601	△160,058	3会計合計

◆企業会計

（令和6年度・単位：千円）

区分	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
病院事業	3,444,510	3,662,783	682,359	682,359
下水道事業	1,886,191	1,935,095	577,935	855,538

令和6年度の主な事業予算

(単位：千円)

区分	事業名	予算額
子育て支援	第2子以降の給食費無償化	15,927
医療介護の充実	市民病院の新病棟整備（実施設計）	48,000
デジタル化の推進	ICT推進事業（標準化移行業務）	345,350
物価・子育て対応	小中学校給食費無償化	334,960
交通弱者対策	デマンドタクシー実証実験	10,580
公共施設の整備	みなよし地区拠点施設整備	2,311,000
	城山保育園整備（造成工事）	64,523
	明知住宅大規模改修1期工事	170,400
	南中学校大規模改修2期工事	460,000

新たな施設の完成予想図



みなよし交流センター建築工事
(令和7年3月完成)



城山保育園移転新築工事
(令和8年度完成)

子育て支援と医療・介護の充実



既存施設の大規模改修

南中学校の改修（2期工事）

◆より美しく、強く、快適に



市営明知住宅の改修（1期工事）

決算の審査

各分科会では、9月定例会に提出された前年度決算の審査と、下表の事業評価を行いました。

No.	分科会名	事業名	評価	説明
1	企画総務	I C T 推進事業	拡充	国が令和7年度末を目標に、一元化を進めているため
2	文教厚生	プール開放事業	縮小	事業の目的である市民需要に十分応えていない
3	文教厚生	アートプラザ開催	縮小	全市民にとって利益になる事業とは考えにくい
4	経済建設	公共交通推進事業	拡充	必要性・公共性は高いが、市民ニーズにできていない
5	経済建設	都市公園整備事業	拡充	公園は利用者が多く、計画的な整備が必要

令和5年度 企画総務委員会

調査テーマ 中間報告



1.委員会テーマ

市民が利用しやすいデジタル化の推進

2.選定理由

デジタル化の推進は今後の自治体運営において、大切なテーマになっている。

行政の効率化や市民サービス向上につながるデジタル改革を進めることは必須になっており、市民が利用しやすいデジタル化を確実に推進することが求められる。

3. 令和5年度活動計画

(1) 調査項目

市民にやさしいデジタル化

- ① デジタル化の「市民サービスの提供」
- ② 誰一人取り残さないデジタル化

(2) 年間スケジュール

2年サイクル（R5,6年度）基本パターン

R5年度 基本計画の現状調査

5月臨時議会	6月議会	9月議会	12月議会	3月議会
2年間のテーマ決定	本市の現状調査研究・調査項目決定	行政調査（10月）	継続調査	中間報告（4月）

R6年度 調査結果を分析し、政策作成・提言

5月臨時議会	6月議会	9月議会	12月議会	3月議会
継続調査	行政調査（7～8月）	議会報告会	提言まとめ	政策提言

4.令和5年度活動内容

① 勉強会

みよし市デジタル化構想のレクチャー

② 本市のデジタル化推進取り組み中の現状調査

ワンストップ窓口、書かない窓口

③ 行政視察

神奈川県平塚市、千葉県船橋市

③ 行政視察（10/11～12）

神奈川県平塚市

千葉県船橋市



○デジタル化（DX）推進計画の進捗状況

- ・アクションプランの作成

○市民にやさしいデジタル化の取り組み

- ・納税、使用料支払い等のキャッシュレス化
- ・転入、転出、死亡、出生届のワンストップ窓口
- ・書かない窓口

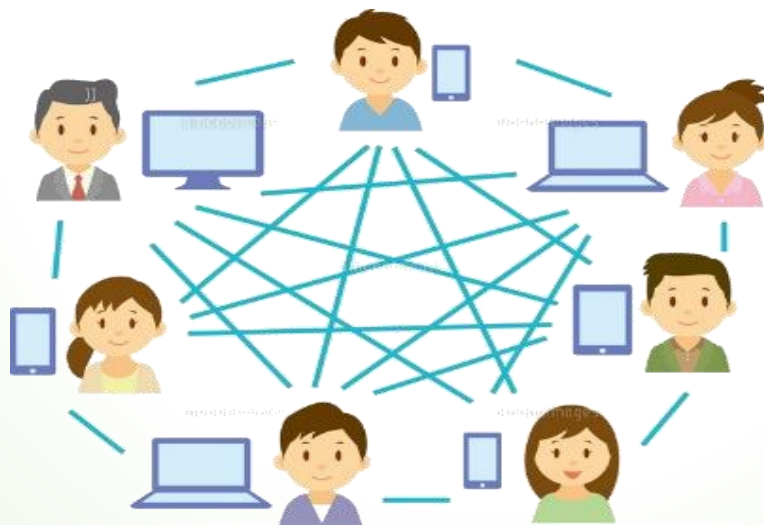
○誰一人取り残さないデジタル化の取り組み

- ・スマホコンシェルジュの拡充

5. 令和5年度中の成果と課題

成果

- 令和7年度を目途に国が示すデジタル化の基盤づくりを着実に取組んでいることを確認

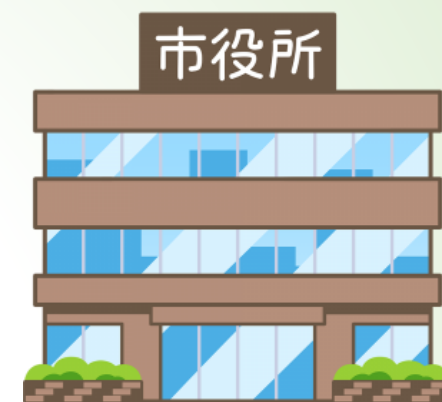


課題

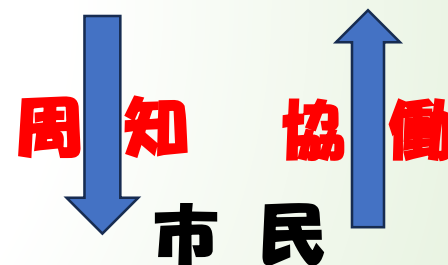
- 行政のデジタル化の取組みが市民に理解できていない。
- デジタルリテラシー（活用力）向上が求められる。

デジタル化推進の考え方

- 市民が使いやすく
- 急ぐことより確実に
- セキュリティ対策は高く



デジタル化推進



6.市への要望事項

- ① アクションプランの作成
- ② デジタル化推進の市民への周知
- ③ マイナンバーカードの普及促進
- ④ セキュリティ対策の徹底



令和5年12月8日要望書提出

6.市への要望事項

① アクションプランの作成

行政のデジタル化の取り組みで何をいつまでに実施するのか、スケジュールを示し、進捗の見える化を図ること

アクションプラン			
事業番号	事業名	評価	コメント
1-1-1	オンライン申請の拡充	B	<ul style="list-style-type: none"> ・26手続きのオンライン化が予定通り完了 ・順調にオンライン化が進んでいる。
1-1-2	オンラインによる行政情報の発信強化	A	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館利用者やスマートフォン講座の受講者に、「ふなっぴ」の周知を実施

事業番号	1-3-3			
事業名	官民共創によるデータ利活用			
担当部署	デジタル行政推進課			
事業概要 (設定年度: 令和4年度)	【現状】 市がデータを公開し、民間が独自に利用するという形に留まっています。			
	【課題】 市と民間が、ある地域課題に対して共にデータを活用して解決を目指すという形になっていないことから、それぞれの想いが一方通行になりがちで、地域課題の解決に直結しづらくなっています。			
	【目標】 地域課題に対して、データを媒介に、市と民間とが「対等な立場」で新たな仕組みを創り上げます。			
スケジュール	R4	R5	R6	R7
	【R4 新】 シビックテック団体と連携			継続
令和4年度 進捗	評価	【B】 おおむね予定どおり実施		
	コメント	船橋市内のシビックテック団体が、子育て世代の抱える課題を解決するため、本市の持つデータを活用し、「船橋子育て地域マップ (URL: https://code4funabashi.org/projects/kosodate-map)」を創り上げました。今後も引き続き、シビックテック団体と連携を図ります。		

② デジタル化推進の市民への周知

- 市民は、行政のデジタル化推進を認知してない
- 広報などで市民にデジタル化の導入時期や進捗状況を周知



③ マイナンバーカードの普及促進

みよし市の交付率 83%
全国平均交付率 79%

令和6.3.31現在



さらなる普及促進に向け、マイナンバーカードの多目的利用を推進し、日常生活の利便性向上を図る。



④ セキュリティ対策の徹底

- 「三層の構え」で情報セキュリティ対策
 - ・ 情報の持ち出し制御
 - ・ インターネットの分割
 - ・ 情報セキュリティクラウドの構築

- ファイアウォールの二重化

7.令和6年度活動計画

誰一人取り残さない、
人にやさしいデジタル化



●デジタル化支援体制の充実

- 市民のデジタルスキル向上サポート
- スマホ講座等の拡充
- スマホコンシェルジュの拡充
- 窓口へのデジタル端末の配備 等

デジタル技術の便利で 快適なサービスの提供

② オンライン化

- ・行政手続きのオンライン化
- ・テレワークの推進
- ・SNS等による情報発信

③ 窓口のデジタル化

- ・ワンストップ窓口（転入、転出、死亡、出生届）
- ・キャッシュレス化（納税、使用料支払い等）
- ・書かない窓口の導入 等

④ 20業務の国標準仕様とシステム移動の検証



令和6年1月

国から自治体フロントヤードモデルに採択

●市役所のデジタル化を4年間前倒し

(令和6年度から順次実施)

- 申請書の自動入力・セルフ端末
- オンラインサポートで待ち時間短縮
- 申請ナビによるスマホ、パソコンからの電子申請

●窓口サービス

- 「書かない、待たない、来なくてもいい」
- 事務の効率化

ご清聴
ありがとうございました



文教厚生委員会

みよし市議会報告会

委員長 渡邊郁夫 副委員長 奥村祐右
塚本克彦 水谷正邦 増岡義弘
伊地田妙子 御国しおん

1. 委員会テーマ

教員の多忙化解消・文化系（吹奏楽） 学校部活動の地域移行について

2. 選定理由

部活動は、今まで同様の体制で運営することは難しい
部活動が教員の長時間勤務の大きな要因の一つとなっていることから、改革が急務となっている。

図 1

教員の在校時間80時間以上の割合（％）

	H28 11	H30 11	R5 11	参考 県R5
小学校	24.7	19.2	4.4	1.8
中学校	61.5	53.4	18.9	8.2

3. 令和5年度活動実績

(1) みよしの現状を調査

教員多忙化解消の取組

「みよし市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則」を推進し、「みよし市教職員多忙化解消プラン」を基に働きやすい環境づくりに取り組んでいることがわかった。

吹奏楽部活動の地域移行の取組

<目標> を掲げて部活動改革を推進していることがわかった。

- ① 生徒の自主性を育み、体力や技能の向上を目指す活動機会の保障
- ② 生徒の興味関心に応じた魅力ある活動の創設
- ③ 地域コミュニティの活性化

主な取り組み

- ・ 小中学校に電話機用自動応答装置を設置
- ・ 音楽発表会の楽曲を教科書に載っている内容に限定
- ・ みよし市吹奏楽団シンフォニックウィンズみよしにて指導協力

3. 令和5年度活動実績

(2) 行政視察

熊本県熊本市

<教員の働き方改革>

教員の時間創造プログラムで教育活動への転換の取組、ICTの活用、外部人材民間活力等の活用による学校支援、各学校での意識改革、創意工夫を行っている。

福岡県中間市

<文化系部活動の地域移行>

生徒数の減少（教員も減少）により吹奏楽の部員数も減少、市内全中学校合同部活動の実践研究を行い指導体制を構築している。

<視察先での研修の様子>



4. 令和5年度の成果と課題

(1) 成果

教員多忙化解消の取組

教員の全体の仕事を減らす取組を進め、年休付与期間を9月から翌年8月に変更し夏季休業中に年次休暇を取得しやすい制度に変更する案を県教育委員会へ働きかけ



吹奏楽部活動の地域移行の取組について

指導者不足を補うため、指導者を確保するための人材バンクを設置する案



4. 令和5年度の成果と課題

(2) 課題

1、教員の時間確保が困難

教員の業務量が膨大であること

授業や指導だけでなく、部活動、行事、保護者対応、会議、研修など多岐にわたる業務を担っている。これらの業務は、教育の変化や社会の要請に応じて増加・多様化しており、教員の負担を増やしている

4. 令和5年度の成果と課題

(2) 課題

2、部活動指導者の確保が困難

教員の指導力や経験が不足していること

・教員は、自分が経験したことのないスポーツや文化活動の指導をすることがある。そのため、技術指導や安全管理に不安を感じる場合や、指導者養成プログラムの機会が少ない。

地域の指導者や受け皿が不足していること

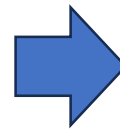
・地域のスポーツクラブや文化団体などに指導できる人材や活動場所が必要。

4. 令和5年度中間提言 教員の多忙化解消

教員の子どもと向き合う時間確保のために・・・

主な対応案

1. 事務量に応じた適切な人員配置の検討
2. 授業時間やコマ時間の見直し
3. 授業用資料をクラウド化し授業準備工数を削減



あるべき姿

教員の時間確保を実現することで、教員は心に余裕を持ち、子どもとともにいる環境が実現でき教育の質の向上にもつながる

4. 令和5年度中間提言

学校部活動の地域移行

部活動指導者を確保するために・・・

主な対応案

- 4. 指導希望の教員を活用（教員対象に兼職兼業手続きの整備）
- 5. 平日の活動と休日指導者との連携（情報共有）
- 6. 学校指導者と地域指導者との連携
- 7. 指導員等の人材バンクの設置



あるべき姿

休日部活動を外部の指導者に任すことにより時間外勤務時間を減らすことができる。また生徒の部活選択肢拡大や地域との連携強化が図られる

5. 令和6年度活動内容

(1) スケジュール (予定)

時期	内容
4月～6月	教員の多忙化解消や学校部活動の地域移行についての先進地視察先の検討、調整
7月	行政調査
8月、9月	教員多忙化解消進捗・部活動地域移行進捗状況確認
10月～1月	提言内容検討、委員会提言書作成
2月	委員会提言書とりまとめ

5. 令和6年度活動内容

(2) 今後の活動内容



1. 教員の多忙化解消や部活動の地域移行は両テーマとも密接な関係がある。教員がゆとりを持って子どもと向き合う時間や自己研鑽の時間を確保していく提言を委員会で協議していく

2. 生徒の豊かな部活動を実現するためには、学校と地域との連携・協働により、学校部活動の在り方に関し委員会で協議し、生徒や保護者の負担に十分配慮しつつ、持続可能な活動環境を整備できる提言を取りまとめる



ご清聴、ありがとうございました



経済建設委員会

みよし市議会報告会

2024年4月21日

1. 経済建設委員会テーマ

(R5年5月～R6年3月)

快適でコンパクトなまちづくり

2. テーマ選定理由

本年度は試行的に始まった委員会2年サイクルの1年目として、委員会テーマにあるように視野を広く調査研究することにした。

3. 令和5年度活動実績

＜事務事業評価＞

本市の行う事業の内「公共交通推進事業」及び「都市公園整備事業」を選択し評価を行い、事業内容の理解を深め、それらを主に調査研究を行った。



3. 令和5年度活動実績

＜行政調査＞

・富山県 富山市

(令和5年8月7日)

快適でコンパクトなまちづくり

・新潟県 長岡市

(令和5年8月8日)

中心市街地のまちづくり

・愛知県 名古屋市 鶴舞公園

稲沢市 木曾川祖父江緑地

(令和6年1月11日)

公園整備について





3. 令和5年度活動実績

＜行政調査：調査先で学んだこと＞

① 富山市

公共交通のネットワーク形成により、コンパクトなまちづくりとして、

〈歩いて暮らせるまち〉を目指していた。

- ・公共交通沿線への居住促進
- ・中心市街地の活性化

「グランドプラザ」

「まちなか賑わい広場」

「ガラス美術館・図書館複合施設」

- ・トランジットモール社会実験

他



富山LRT (Light Rail Transit)



グランドプラザ



3. 令和5年度活動実績

＜行政調査：調査先で学んだこと＞

② 長岡市

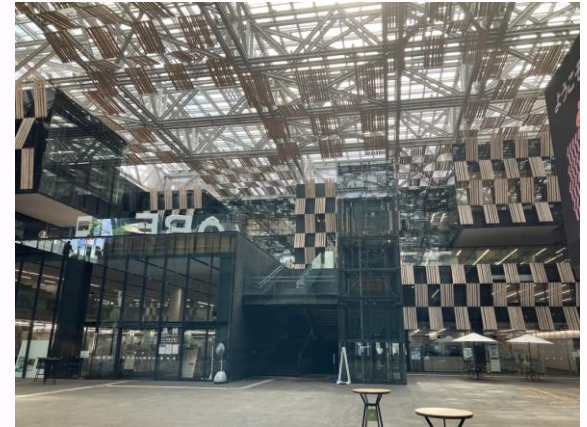
市全体のまちづくり方針(将来都市像)に対して具体的な取り組みを行っていた。

- ・行政機能のまちなか移転：【アオーレ長岡】

ナカドマ(屋根付き広場)、市役所、議場(1F)、市民交流ホール、アリーナ

- ・市街地再開発事業

老朽化した建物を公共施設、店舗、事務所、住宅等が入った使い勝手の良い建物に再整備



ナカドマ



長岡市議会議場

3. 令和5年度活動実績

＜行政調査：調査先で学んだこと＞

③長岡市バイオマス発電センター

生ごみを微生物の働きで分解（発酵）し、発生するバイオマスガスを発電に利用。

また、ガスだけでなく、発酵残渣（残りかす）も民間セメント工場などの燃料として売却するため、生ごみを100パーセント利用。一日65トン进行处理。



バイオマス発電センター全景

3. 令和5年度活動実績

＜行政調査：調査先で学んだこと＞

④鶴舞公園 Park-PFI*により再生
※名古屋市×鶴舞公園整備運営事業共同事業体



100年の歴史のある都市型公園を3つのエリアに分けリニューアルすることで、歴史を守りつつ現代のニーズに合わせた公園整備を行っていた。

- ・正面南エリアについて、芝生広場を中心にレストランやテイクアウトができる店舗やトイレを整備。
- ・秋の池エリアについて、景観を楽しむように、園路や休憩所、カフェなどの店舗を整備。自然を感じながら気軽に憩える空間とする。
- ・熊沢山エリアについて、東屋や滝が池を望むデッキを整備。



3. 令和5年度活動実績

＜行政調査：調査先で学んだこと＞

⑤木曾川祖父江緑地 指定管者*で運営

※愛知県×岩間造園株式会社

郊外型の公園として、自然を感じながら笑顔で安心して遊べる家族公園。

- ・園内にはテニスコートやプールがあり、冒険広場内には年齢層別の遊具も充実している。その他バーベキュー場や展望広場、多目的広場など多くのニーズにも対応していた。
- ・木曾三川国定公園にも隣接し、河川敷にはウッドデッキ、東屋を設置されていて自然を満喫できた。



冒険広場



木曾三川国定公園

4. 令和5年度中の成果と課題

成果

本市の公共交通事業については、
原点で有った福祉交通としての
事業推進がなされていると理解できた。

また、都市公園整備事業についても、公園の特色や自然
環境を守りつつ整備を進めることの重要性について学ぶ
ことが出来た。



課題

両事業ともに、本市の規模や特色に合わせた先進事例
の調査ができていないため、具体的な事業提言に繋げ
にくい。

5. 中間提言

概要

地域公共交通

- ・さんさんバスの路線変更及び交通弱者への補助等、実施以降の費用対効果検証を行い、デマンドタクシーの実証実験の結果をもとに地域公共交通全体の体制づくりに努める。

都市公園の整備

- ・都市公園の特徴を活かし利用者ニーズに合わせた公園整備。
- ・公園管理、整備及び新たな利用方法についての民間活力の導入。

6. 令和6年度活動内容(予定)

2年目に向けて、本市のまちづくりに提案できるように下記の項目について調査研究を進めて行く。

(1) 地域公共交通

- ・さんさんバスについては路線変更等行って間もないため、今後大きな変更については地域公共交通会議では暫く協議の対象にならないことを前提に、路線変更等後の実績、費用対効果を踏まえ、現在行っているデマンドタクシー実証実験の中間報告などを注視し、今後の地域公共交通の在り方を中心に調査研究を続ける。



日進市自動運転バス



新交通システム例

6. 令和6年度活動内容(予定)

(2) 都市公園整備

- ・本市を代表する都市公園の特徴を活かしつつ、市民がより楽しめる公園となるよう調査研究を続ける。
- ・公園の管理、運営、整備等、民間移管への考え方(令和4年度からの協議事項)を調査研究。
- ・公園の利用状況等、市民ニーズの把握及び、新たな利用方法の調査研究。



水辺の開発例(鞍ヶ池公園)



6. 令和6年度活動内容(予定)

(3) 中心市街地、鉄道駅周辺の賑わいづくり

- ・行政主導でのまちづくり計画の積極的な推進。
- ・歩道や駅前広場を活用したイベント等の開催。

駅前開発イメージ (福谷北)



賑わい例 (オアシス21)

最後までご視聴

ありがとうございました

**みよし市議会
経済建設委員会**



FIN

